

みんなで防災について考える日

愛知県 豊田市立滝脇小学校少年消防クラブ

1 実施の経緯

愛知県豊田市立滝脇小学校は、自動車産業で有名な豊田市の南東端にあります。平成28年度の児童数は、29名という小規模校です。学校の周りの豊かな自然環境を生かして、昭和41年から『愛鳥活動』に取り組み、今年で51年目を迎えました。これまでに、「文部大臣奨励賞」「林野庁長官賞」「愛知県知事賞」など多くの賞を受賞しています。

もう一つの特色は、豊田市独自の制度「小規模特認校制度」を実施していることです。希望すれば学区外からでも通学でき、現在、5名の児童がこの制度を使っています。地域の児童数は、横ばい状態のため、様々な面で学校と地域が協力し合っていない状況です。

学区を見ると、土砂災害警戒区域に指定されている場所があり、高齢者が多くいます。防災についても保護者、地域ぐるみで学習することが必要だと感じました。そこで、平成25年度から、防災行事「みんなで防災について考える日」を立ち上げ、学習を深めてきました。

2 活動内容の決定に当たって

この防災行事の内容を考え、実施するに当たって、豊田市消防本部予防課(以下「予防課」という。)、地域の消防団、地域の自主防災会などと協力してきました。

また、小学校6年間で子どもが、防災について重要な基礎的な事柄を身に付けさせたいと考え、そのために、3年を1クールとして、地域防災について必要な事柄を盛り込んだ内容で計画を立てました。そうすることで、子どもは6年間で同じ事柄を2度学習することになり、防災について学んだことの定着が図られると考えました。

また、毎年継続して行え、子どもや地域の防災意識を高める内容も盛り込みたいと考え、「滝っ子防災カルタ」作りにも着手しました。

このカルタ作りについては、あとで詳しく述べます。

3 平成25年度(1年次)の取組

参加者が楽しく、主体的に防災について学習できるように、家族ごとで回るスタンプラリー形式をとって実施しました。期日は、多くの人に参加しやすいように、夏休みの全校出校日、奉仕作業の日(土曜日)にしました。

1年目に実施した内容は、以下のとおりです。

活動内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> ・避難所受付体験 ・避難所生活の心得 ・防災備蓄倉庫の見学 ・消火器体験 ・煙道体験 ・間仕切り使用体験 ・防災クイズ *防災カルタ作り ・非常食試食(アルファ米) ・振り返り 	自主防災会 市役所防災対策課 市役所防災対策課 消防団 消防団 消防団 学校 学校 学校 学校

防災学習の内容は、地域性を考え、必要なものから体験、学習できるようにしました。

また、3年計画で、「滝っ子防災カルタ」の作成にも着手しました。防災学習を通して学んだことや考えたことをカルタの読み札にしていきました。絵札は、子どもが描いたり、地域に実際にある写真を使ったりするようにしました。1年ごとに、3分の1の読み札を完成させるようにしました。



〈防災カルタの一部〉

親子で防災カルタ作り

4 平成26年度(2年次)の取組

1年次の学習内容や反省を生かし、2年目は以下のような内容で、実施しました。

活動内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> 避難所受付体験 防災マップ作り 起震車(防サイ君)体験 土のう作り体験 バケツリレー(初期消火) 伝言ゲーム(情報伝達) 防災クイズ 防災カルタ作り 非常食試食 振り返り 	自主防災会 学校 予防課 予防課、消防団 予防課、消防団 予防課、消防団 学校 学校 学校

保護者だけでなく、区長さんを始め消防団員の方など地域からの参加も徐々に増えてきました。



パッキング(非常食)体験

実際に体験する場を設けることで防災意識が高まっていることを感じました。

5 平成27年度(3年次)の取組

1クール目の最終年度は、以下のような内容で実施しました。3年間かけて、親子で作ってきた「滝っ子防災カルタ」が完成しました。

活動内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> 避難所受付体験 避難時の行動 機器を使わない搬送 倒壊からの救出 ロープワーク トイレと水 防災クイズ 防災カルタ作り 非常食試食 振り返り 	自主防災会 予防課 予防課、消防団 予防課、消防団 予防課、消防団 予防課、消防団 学校 学校 学校 学校



機器を使わない搬送

防災について考える日で、救出やカレー作りなどを体験しました。いざという時に自分で動けるように日頃から考えておきたいです。(少年消防クラブ員の感想から)

6 第2クール1年目、平成28年度の取組

3年間継続して実施してきたことで、防災への意識が高まり、ふだんの避難訓練等でも子どもの変容を感じることが増えてきました。学習を生かして、避難訓練も、予告なしや休み時間中の訓練など、より実践的な訓練に変えました。

「みんなで防災について考える日」は、第2クールに入りました。第1クールの3年間で行った内容をもう一度行い、定着を図る計画です。

内容については、振り返りを「親子防災ミーティング」とし、家族が防災について話し合ったり、約束を決めたりするようにしました。地域、PTAとも内容について話し合い、非常用トイレの設置場所や方法を学習することにしました。

また、昨年完成した、「滝っ子防災カルタ」を使って、「親子カルタ大会」を行い、自分たちの言葉で防災への意識高揚を図りました。楽しみながら防災の大切さを再確認できました。

活動内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> 避難所受付体験 東日本大震災から学んだこと 防災備蓄倉庫の見学 煙道体験 起震車(防サイ君)体験 非常用トイレ設置の仕方 親子防災カルタ大会 親子防災ミーティング 	自主防災会 予防課 市役所防災対策課 予防課 予防課 市役所防災対策課 学校 学校



東日本大震災に派遣された消防職員の方の話



親子で「滝っ子防災カルタ」大会

7 おわりに

毎年参加者に新たな学びや気づきがあり、防災への危機感を高めることで地域防災力の向上を図るこの取組が年月をかけて根付いてきたことを非常に感じています。学区の中学校でも、1泊で防災行事を行っています。将来の地域防災の担い手としての基礎を身に付けられるよう、内容について改善しながら、地域とともに安全・安心な学区づくりに努めていきたいと思っております。



非常用トイレの設置と体験